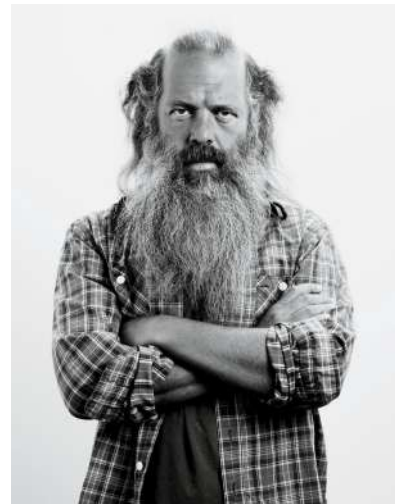


「世界最高」と謳われる究極の音楽プロデューサー

Rick Rubin

リック・ルービン

- 9度のグラミー賞を受賞(2024年11月現在)
- TIME誌2007年「世界で最も影響力のある100人」に選出
- 「どのジャンルにおいても最も成功したプロデューサー」(Rolling Stone誌)
- 1980年代より主にラップ、ヒップホップのプロデュースを手がけ、ヒップホップを世界でメジャーな音楽ジャンルとして確立させた”ヒップホップの仕掛け人”
- 2007年から2013年までコロムビア・レコードの共同会長を務め、従来のレコードビジネスからデジタル時代への移行に貢献
- Def Jam Recordings共同設立者
- アメリカン・レコーディングスの創設者



©Robbie Firmano

リック・ルービンは、1984年に大学在学中にDef Jam Recordingsを創設して以来、音楽業界に多大な影響を与えている、世界的に著名な音楽プロデューサーです。「創造性の指導者(グル)」とも称され、アーティストが最高のパフォーマンスを発揮できるよう導く手腕に優れ、その才能を通じて数多くの名曲や伝説的な名盤を生み出してきました。

彼と仕事を共にしたアーティストたちは、「リック・ルービンは、快適で信頼に満ちた環境を提供し、アーティストが創造性の核心に触れる手助けをしてくれる」と、他のプロデューサーとは一線を画す特別な才能を絶賛しています。

これまでにリック・ルービンがプロデュースしてきたアーティストには、アデル、Jay-Z、トム・ペティ、レッド・ホット・チリ・ペッパーズ、ジョニー・キャッシュ、スレイヤー、ラナ・デル・レイ、カニエ・ウェスト、ブラック・サバスといった、ジャンルを超えた世界的なトップミュージシャンが名を連ねています。いずれのアーティストも、彼との共同制作によってキャリアを象徴する名作を生み出してきました。2023年には、Z世代に絶大な支持を得るアーティスト、beabadoobee(ビーバドゥービー)のアルバム『This Is How Tomorrow Moves』をジェイコブ・バグデン氏と共同プロデュースしました。このアルバムは、カリフォルニア州マリブにあるルービン所有の「シャングリ・ラ・スタジオ」でレコーディングされたことでも注目を集めました。

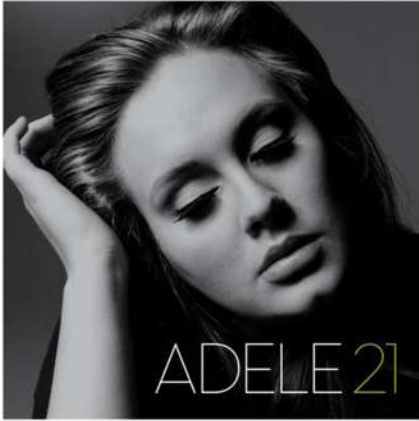
リック・ルービンの功績は、数々の受賞歴にも表れています。これまでにグラミー賞を9回、CMA賞を2回受賞したほか、Spotifyの「レジェンダリー・ジーニアス・アワード(Legendary Genius Award)」受賞、レコーディング・アカデミー「会長功労賞」、デヴィッド・リンチ財団「Lifetime of Harmony賞」など、名誉ある賞を多数受賞しています。その卓越した音楽的洞察力と創造力により、リック・ルービンは現代音楽の歴史に欠かせない存在として、その名を不動のものとしています。

次ページ

リック・ルービンの主なプロデュース作品

👑グラミー賞主要3部門を含む6部門受賞

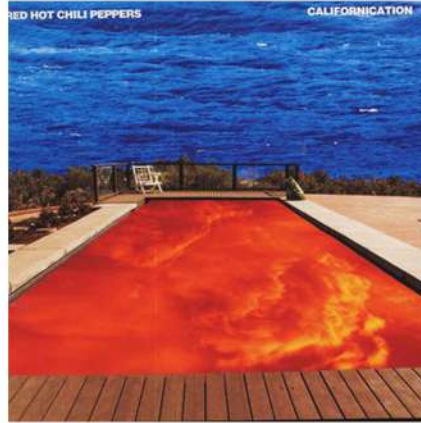
アデル『21』



シングル“Rolling In The Deep”をはじめ、楽曲のほとんどは敏腕プロデューサーのリック・ルービンと共に制作された。
売上枚数:約3,100万枚以上

👑グラミー賞最優秀ロック・ソング賞受賞

レッド・ホット・チリ・ペッパーズ『Californication』



国際的に最も商業的に成功したスタジオアルバム
バンドの過去2枚のアルバムをプロデュースした
リック・ルービンがプロデューサーに復帰
売上枚数:約1,500万枚以上

グラミー賞最優秀ハードロック・パフォーマンス賞
ノミネート

リンキン・パーク

『Minutes to Midnight』

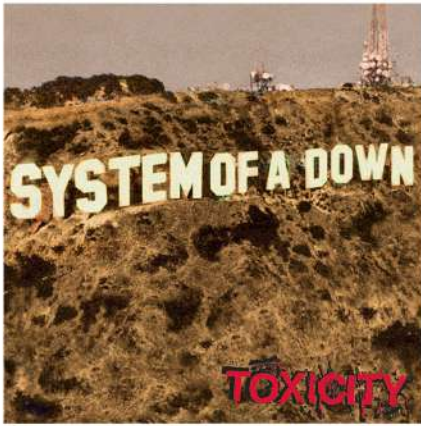


リック・ルービンとバンドの中核:マイク・シノダ共同プロデュース
ビルボード・アルバムチャート初登場1位。発売週のオリコン・
アルバムチャートでもバンド初の1位を獲得するなど、
世界31ヶ国のアルバムチャートで1位のセールスを記録。
ゴールド・ディスク等の認定も多く受けている
売上枚数:約2,000万枚以上

収録曲「Chop Suey!」

グラミー賞最優秀メタル・パフォーマンス賞ノミネート

システム・オブ・ア・ダウン 『Toxicity』



リック・ルービンとSOADのコラボで最も成功した作品の一つ。
メタルとアルメニア音楽を融合し、政治や社会問題を扱った
歌詞が特徴的な2001年発表のアルバム

👑グラミー賞

最優秀メタル・パフォーマンス賞受賞

メタリカ 『Death Magnetic』

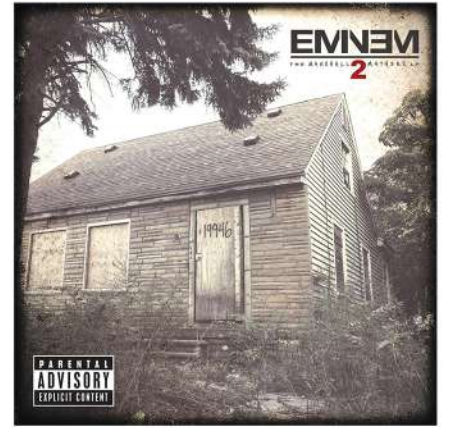


HR/HMの最前線で戦い続ける孤高のバンド=メタリカが、
長く連れ添ったポップ・ロックに別れを告げ、
新たにリック・ルービンをプロデューサーに起用
自らの歴史を集大成するような、よりドラマティックで
密度の濃いサウンドを創出した通算9枚目のアルバム

👑グラミー賞最優秀ラップ・アルバム賞受賞

エミネム

『The Marshall Mathers LP 2』

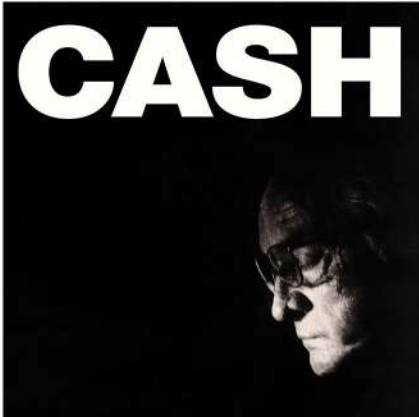


通算8枚目となるスタジオ・アルバム。
ビースティ・ボーイズの「Fight For Your Right」を一部
サンプリングしたシングル「バザーク」、リアーナをフィーチャー
した「The Monster」他を収録。
エグゼクティブ・プロデューサーにリック・ルービン起用

👑グラミー賞

最優秀カントリー・コラボレーション賞受賞

ジョニー・キャッシュ 『American IV: The Man Comes Around』



史上最も売れた音楽アーティストの一人、ジョニー・キャッシュ
67枚目のスタジオアルバム。キャッシュ晩年の最高傑作の一つ。
アルバム収録曲の大半はプロデューサーのリック・ルービンの
協力を得て、キャッシュが独自のシンプルなスタイルで演奏する
カバー曲

グラミー賞ノミネート

最優秀ラップ・ソロ・パフォーマンス賞

ジェイ・Z 『The Black Album』



アルバムが7枚連続で全米初登場1位、という記録を持つ
NY出身のラッパー、ジェイ・Zの引退作(後に復帰)。
自身がリスペクトする12人のプロデューサー
(エミネム、ザ・ネプチューンズ、ドクター・ドレー、ティンパランド、
リック・ルービン他)による12トラックを収録

スレイヤー

『Reign in Blood』



メタルシーンに革命をもたらし、多くのバンドに影響を与えた
スラッシュメタルの名盤。リック・ルービンがプロデュースを担当。
過激な内容と音楽性で多くの批評家やファンから賞賛を受け、
1986年のリリースから今日に至るまでメタル史上最も影響力
のある作品のひとつとされている。



©Robbie Fimmano

Rick Rubin

バイオグラフィー

リック・ルービン(本名:Frederick Jay Rubin)
1963年3月10日、ニューヨーク州ロングビーチ生まれ

1984年

・ニューヨーク大学の在学中、寮の部屋を拠点に、音楽レーベル「Def Jam Records」を設立

1986年

・リック・ルービンのプロデュースにより、ラップグループRun DMCがエアロスミスの「Walk This Way」をカバースマッシュヒットとなる。ラップとロック、人種など文化の壁を超え「音楽史で最も偉大なミュージックビデオランキング」で1位に輝いた

・全曲をルービンが手がけたビースティ・ボーイズのデビューアルバム『Licensed To Ill』が、ヒップホップ初の全米アルバムチャート1位を飾り、7週連続首位を獲得する

1998年

・ジョニー・キャッシュのアルバム『Unchained』にて、プロデューサーとして初のグラミー賞最優秀カントリーアルバム賞を受賞

2006年

・年間最優秀アルバム賞のノミネート作品のうち、ディクシー・チックスの『Taking The Long Way』、レッド・ホット・チリ・ペッパーズの『Stadium Arcadium』、ジャスティン・ティンバーレイクの『FutureSex/LoveSounds』の3作のプロデューサーを務めた(ディクシー・チックス『Taking The Long Way』年間最優秀アルバム賞受賞)

2012年

・ルービンがプロデュースした、アデルのセカンドアルバム『21』がグラミー賞年間最優秀アルバム賞を受賞

2016年

・「レコーディング・アカデミー」より、彼の創造的および音響的な優れた業績と、録音音楽の芸術や技術への継続的な貢献を称えられ、毎年行われる「プロデューサー&エンジニアズ・ウィング」のグラミー週間イベントにて「会長功労賞」を授与

・エミネムのアルバム『リバイバル』のプロデュースを担当。エミネムの復帰作として話題を集める

2021年

・ルービンがプロデュースし、マリブのシャングリ・ラ・スタジオでレコーディングを行った、ザ・ストロークス『The New Abnormal』が、グラミー賞最優秀ロックアルバム賞を受賞

・ポール・マッカートニーのキャリアを掘り下げた6部構成ドキュメンタリーシリーズ『マッカートニー 3,2,1』共同制作

2023年

・初の著書『The Creative Act』がペンギンプレスより刊行。世界25カ国で刊行され、ニューヨークタイムズベストセラー1位を獲得するなど世界的大ヒット、ベストセラーを記録する

・全世界で累計50億回のストリーミング再生を記録したシンガー・ソングライター、ビーバドゥービーの新作アルバム『ディス・イズ・ハウ・トゥモロー・ムーヴス』を共同プロデュースし、カリフォルニア州マリブのシャングリ・ラ・スタジオでレコーディングを行う

・Apple Podcastsで、インタビューを主にしたポッドキャスト「Tetragrammaton」のホストを開始

2024年

・ルービンが全アルバムを共同プロデュースした「システム・オブ・ア・ダウン」についてのインタビューが公開。ルービンが初めて彼らのライブを観た際のエピソードを語り、話題に。

リック・ルービンが 世界最高と謳われる理由

リックは俺から色々引き出すのがすごくうまいんだ。すごくリラックスできる環境で、俺が何か思いつくと、彼はそこから導いていくのがすごくうまい。

——エミネム

リック・ルービンは音楽の技術ではなく、
アーティスト本人の感性を高めることで
最高の作品を生み出すよう導く
グル(導師)のような存在として、世界のトップ
アーティストたちに知られています。

一緒に仕事をするミュージシャンと、彼らが作る音楽を正しい方向へ導く
手助けをすることに重きを置いているルービンは、
生み出される音楽やアーティストの言葉に注意深く耳を傾け、
それについての意見や感想を述べ、
アーティストの創造性を開花させるための適切な条件を整える
ことによって、自然な形で最高の作品が生み出されるよう促します。